

ぽかぽか

お正月あそびを楽しもう！

お正月には、こま回しや、けん玉、凧あげ、福笑い、羽根つき、すごろく、かるた、だるま落とし等、昔から伝わる様々な伝統的な遊びがあり、伝承遊びとも呼ばれています。

令和7年の干支（へび）にちなんで、ぐるぐるへびを使った凧をご紹介します。

【ぐるぐるへびさんの作り方】

【材料】

画用紙・シール・ペン・紐等(20cm位)・はさみ

【作り方】

- ①画用紙に渦を描きます。(右図1)
 - ②線の上をはさみで切ります。
 - ③顔となる中心部分に目と鼻を描きます。
 - ④シール等で模様をつけます。
 - ⑤顔の先に毛糸や紐をつけて完成です。(右図2)
- ※はさみを使う時には怪我をしないよう気を付けてください。

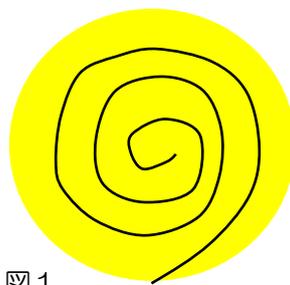


図1

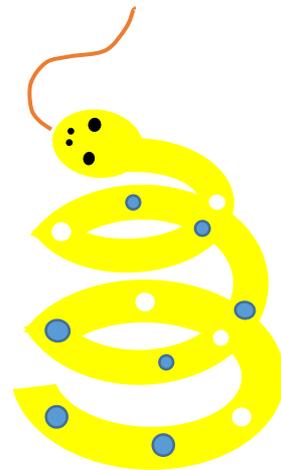


図2

【ぐるぐるへびさんの遊び方】

◎凧

紐を持って走ると、へびがくるくと回ります。走らずに、その場で紐を持って左右に揺らすだけでもくるくと回って面白いです。

～凧以外の遊びのご紹介～

◎お散歩ごっこ

紐を持って一緒にお散歩を楽しみます。紐を持った手を軽く上下させると、へびも上下に弾み、ふわふわした様子が面白いです。

◎モビール

壁等に紐を貼り付けます。へびが揺れる様子や、しっぽを引っ張ると伸び縮みする様子が楽しめます。



七草がゆについて

七草がゆとは、人日の節句（毎年1月7日）の朝に食べられている行事食で、お正月料理で疲れた胃腸をいたわり、一年の無病息災、長寿健康を願って食べられています。（諸説あり）

～春の七草～

せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ

すずな（かぶ）・すずしろ（大根）

